



雨予報が一転、晴れ間も見える中、国営アルプスあづみ野公園（堀金・穂高地区）の里山文化ゾーンにおいて、令和3年度第1回目の自然観察会を開催しました。

はじめに、講師の東城先生（信州大学理学部教授）から、湿地環境（ため池など）の成り立ちや役割などについてお話を聞いた後、園内の池や水路などで水の中や周辺に暮らす生きもの（昆虫や両生類など）を採集・観察しました。

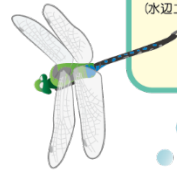


開催日時 令和3年8月21日（土）10:00～12:00

会場 国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）

講師 東城 幸治さん、斉藤 雄太さん

参加者数 40人



観察会の様子



はじめに、湿地環境とはどういう場所なのか、という事について学びました



池の中をのぞきこんで生きものを観察したり、網ですくってみたりしました



水や土の中から成虫になって飛び立ったトンボやゼミについても学びました



捕まえた生きものは、白いバットに集めて観察しました



みんなで協力しながら、水の中の生きものを採りました



集めた生きものを観察しながら、生態や身体づくりの違いについて学びました

見つけた種

◎ 水生昆虫

- オオルリボシヤンマ（ヤゴ）
- オニヤンマ（ヤゴ）
- ガムシ
- クロスジギンヤンマ（ヤゴ）
- クロズマメゲンゴロウ
- コオイムシ
- タイコウチ
- ヒメミスカマキリ
- マツモムシ
- ミズカマキリ ほか



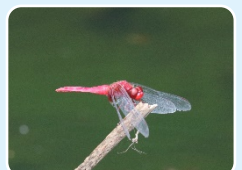
タイコウチとコオイムシ



クロスジギンヤンマ（ヤゴ）

◎ その他の生きもの

- アカハライモリ
- アキアカネ
- アマガエル
- エゾゼミ
- シオカラトンボ
- ドジョウ
- ショウジョウトンボ
- ニホンザル ほか



ショウジョウトンボ



アカハライモリ

秋の気配が近づきつつあった9月下旬、けやきの森自然園において、令和3年度第2回目の自然観察会を開催しました。

はじめに、講師の那須野さん・中田さんから、さわると危険な生き物について教えていただいた後、ライトの光に引き寄せられて集まった夜行性の昆虫などを採集・観察し、生態などについて学びました。

※当初、9月11日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、2週間延期しての開催となりました。



開催日時 令和3年9月25日（土）18：30～20：30

会場 けやきの森自然園（明科地区）

講師 那須野 雅好さん、中田 信好さん

参加者数 29人

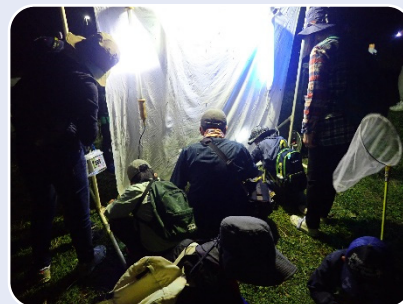
観察会の様子



はじめに、さわるとかぶれるガや危険な昆虫などについて説明を聞きました



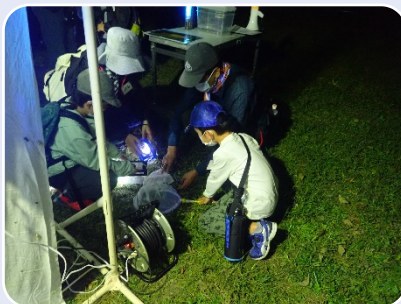
ライトに引き寄せられてスクリーンにやってくる夜行性昆虫を待ちます



集まってきたガ類やバッタ類などの昆虫を観察・採集しました



沢山集まった様々な色彩、形の昆虫について種類や生態などを学びました



暗い夜の森で、見慣れない夜行性昆虫に興味津々の参加者たち

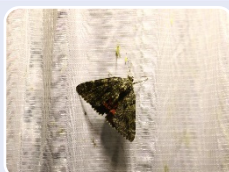


この観察会では、計81種もの昆虫を見ることができました

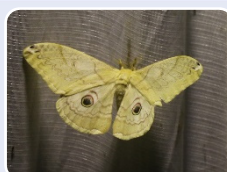
◎昆虫

見つけた種

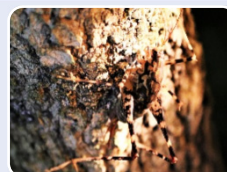
- アヤトガリバ
- ウスキオエダシャク
- オニベニシタバ
- キドクガ
- クスサン
- クワコ
- ハガタベニコケガ
- コガタスズメバチ
- スケバハゴロモ
- ツノアオカメムシ
- マダラカマドウマ



オニベニシタバ



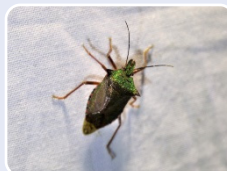
クスサン



マダラカマドウマ



キドクガ



ツノアオカメムシ

◎その他の生きもの

- アブラコウモリ
- ニホンジカ